

第14回フレンドリーカップバスケットボール大会

〔兵庫県家庭婦人バスケットボール交歓大会〕

2011年11月13日

南あわじ市立三原健康公園／南あわじ市立三原中学校／兵庫県立淡路三原高等学校

日時
場所

Aブロック					戦評		
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判			
①	西神ママドル	34	$\begin{pmatrix} 10 & - & 12 \\ 2 & - & 4 \\ 10 & - & 9 \\ 12 & - & 11 \end{pmatrix}$	36	Funnyゴールド	桜香クラブ	Funnyゴールドが先制して速攻などで波にのりかけるが西神ママドルも徐々に2Pシュートで得点を重ね前半は接戦で折り返す。第3ピリオドお互いシュートが決まらない時間が続くが残り4分からシュートが決まりだし西神ママドルが速攻で追上げる。第4ピリオド両チーム速攻で得点を重ね混戦、Funnyゴールドのファウルトラブルが続くが残り10秒でフリースローを確実に決めたFunnyゴールドが接戦をものにし試合終了。(桜香クラブ)
						エンドレス	
②	桜香クラブ	21	$\begin{pmatrix} 3 & - & 12 \\ 12 & - & 9 \\ 2 & - & 10 \\ 4 & - & 9 \end{pmatrix}$	40	エンドレス	西神ママドル	第1ピリオド、エンドレスが粘り強いディフェンスから桜香クラブのミスを誘い、得点に結びつけリズムをつかむ。第2ピリオド、桜香クラブが立て直しを図り追上げる。第3ピリオド、エンドレス#11、12の気迫あふれたプレーが得点につながり点差を広げる。第4ピリオド、堅守に桜香クラブ攻めあぐね、終始主導権を握っていたエンドレスが勝利をつかんだ。(西神ママドル)
						Funnyゴールド	
③	エンドレス	53	$\begin{pmatrix} 12 & - & 4 \\ 6 & - & 4 \\ 16 & - & 6 \\ 19 & - & 6 \end{pmatrix}$	20	西神ママドル	Funnyゴールド	第1ピリオド、エンドレス3Pシュートで先制。第2ピリオドは一進一退の攻防。前半終了間際西神ママドルシュートを立て続けに決め追い上げを図る。第3ピリオド西神ママドルが先手をとるがエンドレス#8が連続で3Pシュートを決め点差を広げる。第4ピリオド、西神ママドル追い上げもエンドレスの3Pシュートの確率がよく点差をひろげての勝利となった。(Funnyゴールド)
						桜香クラブ	
④	Funnyゴールド	33	$\begin{pmatrix} 11 & - & 13 \\ 8 & - & 19 \\ 7 & - & 12 \\ 7 & - & 17 \end{pmatrix}$	61	桜香クラブ	エンドレス	第1ピリオドFunnyゴールド、マンツーマンディフェンス、桜香クラブ2-1-2ゾーンディフェンスで始まる。Funnyゴールド#9を中心にドライブやパス回しから得点を重ねる。桜香クラブは素早いパス回しから3Pシュートで得点を取り返す。第2ピリオド、桜香クラブ#18の投入によりオフェンス、ディフェンス両面でリズムをつかみ流れを引き寄せる。第3ピリオド、お互いマンツーマンディフェンス、桜香クラブが良いプレッシャーを与え続けじりじりと引き離す。第4ピリオド、桜香クラブ#7のシュートが良く決まりFunnyゴールドを引き離して、ゲーム終了となった。(エンドレス)
						西神ママドル	

Bブロック					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
①	ラウンド	24 $\left[\begin{array}{l} 7 - 1 \\ 2 - 6 \\ 4 - 8 \\ 11 - 0 \end{array} \right]$ 15	CZ倶楽部	TMC	第1ピリオド、ラウンドの3Pシュートからゲームが進み始めるが、お互い粘り強く守り、互角の戦いでスタートする。第2、3ピリオドともに一進一退でゲームが進み、接戦のまま第4ピリオドを迎える。お互い一歩も引かず攻撃、守りとも両チームベンチも一体となる白熱したゲームであったが最後気迫あふれたプレーでラウンドが勝利をつかんだ。(TMC)
				ビッグママ	
②	TMC	19 $\left[\begin{array}{l} 9 - 5 \\ 2 - 6 \\ 4 - 4 \\ 4 - 17 \end{array} \right]$ 32	ビッグママ	ラウンド	ビッグママがマンツーマンディフェンス、TMCがゾーンディフェンスで始まる。前半両チームともに得点がなかなか決まらず一進一退の攻防が続く。後半に入ってからシュートが決まらず膠着状態であったが、第4ピリオドに入るとビッグママのシュートが決まりだす。速攻などで得点を重ねていき、点差をあけての勝利となった。(ラウンド)
				CZ倶楽部	
③	ビッグママ	28 $\left[\begin{array}{l} 6 - 5 \\ 3 - 4 \\ 10 - 3 \\ 9 - 2 \end{array} \right]$ 14	ラウンド	TMC	第1ピリオド、実力伯仲で互角の戦い。第2ピリオドでは、お互い詰めが甘くリズムをつかむことができず一進一退の攻防が続く。第3ピリオド、残り3分ビッグママ#4のシュートが決まり波に乗るかと思われたが、ラウンドの闘志溢れるプレーで予断を許さぬ展開。第4ピリオド、ビッグママがゴール下でのシュートを確実に決めていたラウンドを突き放した。(CZ倶楽部)
				CZ倶楽部	
④	CZ倶楽部	33 $\left[\begin{array}{l} 6 - 2 \\ 11 - 4 \\ 9 - 9 \\ 7 - 5 \end{array} \right]$ 20	TMC	ビッグママ	第1ピリオド残り3分に速攻からTMC#10のゴールで先行する。両チームともに連携がとれずターンオーバーが続き波に乗れず。第2ピリオド、#15の3Pシュート、#13の速攻などで得点を重ねたCZ倶楽部が優位にたつ。第3ピリオド、CZ倶楽部が外角シュートを積極的に放つもTMCの粘り強いディフェンスにてこずり両チーム互角の戦い。第4ピリオド、CZ倶楽部が着実に得点を重ねていき、試合を制した。(ビッグママ)
				ラウンド	

Cブロック					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
①	アゲインズ	33 $\left[\begin{array}{l} 5 - 2 \\ 12 - 1 \\ 6 - 6 \\ 10 - 2 \end{array} \right]$ 11	WINK	リトルパンダ	第1ピリオド、両チームともに攻め手を欠き、ロースコアで終わる。第2ピリオド始まりから連続ポイントでアゲインズが波にのり、点差を広げる。第3ピリオド、WINKは速攻のチャンスもなかなか点につながらず苦戦を強いられる。第4ピリオド、ディフェンスでプレッシャーをかけ続けるアゲインズに対しWINKは攻めあぐねペースをつかめないまま試合終了となった。(リトルパンダ)
				芦屋シーサイド	
②	リトルパンダ	38 $\left[\begin{array}{l} 3 - 9 \\ 9 - 7 \\ 10 - 8 \\ 16 - 6 \end{array} \right]$ 30	芦屋シーサイド	兵庫県家庭婦人連盟	両チームハーフのマンツーマンディフェンスでスタート。芦屋シーサイドは、外と中の合わせ、ドライブインなどを使って得点を重ねる。一方リトルパンダは、3Pシュートやドライブインなどで攻撃する。第3ピリオド残り1分でリトルパンダが立て続けに速攻を決め、同点。勝負は第4ピリオドにもつれこみリトルパンダが2点シュートを確実に決め、勝利をつかんだ。(アゲインズ)
				アゲインズ	
③	芦屋シーサイド	26 $\left[\begin{array}{l} 2 - 8 \\ 7 - 8 \\ 12 - 7 \\ 5 - 17 \end{array} \right]$ 40	アゲインズ	WINK	芦屋シーサイドはアゲインズのマンツーマンディフェンスによりインサイドの攻め手を欠き、3Pシュートを狙うも決まらず。アゲインズはスティールからの速攻などで徐々にリードを広げ前半を終える。第3ピリオド、芦屋シーサイドが3Pシュートを2本決めリズムをつかんで2点差まで追い上げるも気迫溢れるプレイでアゲインズが逃げ切り、14点差で勝利をつかんだ。(WINK)
				リトルパンダ	
④	WINK	15 $\left[\begin{array}{l} 5 - 12 \\ 6 - 7 \\ 2 - 11 \\ 2 - 10 \end{array} \right]$ 40	リトルパンダ	アゲインズ	序盤は均衡した展開が続くも、リバウンドシュートが決まりだしたリトルパンダがオフェンスのリズムをつかむ。WINKも気迫あふれたプレイで応戦したが決定力を欠き、点差が縮まらないまま前半終了。第3ピリオド、第4ピリオドは両チームともに淡白な攻めが目立ったが、リング下の得点で徐々に点差が広がり、リトルパンダが勝利した。(芦屋シーサイド)
				芦屋シーサイド	

Dブロック					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
①	ビッグママ'S	13	アゲインズPLUS	FINE エンドレスローズ	第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスで始まる。お互いに攻め手を欠き、なかなかシュートに持ち込めず、ロースコアとなった。第2ピリオド、一進一退の攻防。10対10で前半終了する。第3ピリオド両チームともに攻めあぐねリズムをつかめない。第4ピリオド、アゲインズPLUSの攻めにビッグママ'Sはファールを重ねる。最後まで強気な攻めを続けたアゲインズPLUSが逃げ切り、勝利を手にした。(FINE)
②	FINE	18	エンドレスローズ	ビッグママ'S アゲインズPLUS	第1ピリオドは、お互いに点を取り合うもフリースローを確実に決めたエンドレスローズがややリード。第2ピリオドは双方ともに決定力にかけ、かろうじて残り5秒でエンドレスローズ#6のゴール下が決まり前半終了。後半は、お互いに疲れが出はじめ、パスがうまく通らなくなってきたなか、FINE善戦するも前半の点差を縮めることができず、試合終了となる。(ビッグママ'S)
③	エンドレスローズ	46	ビッグママ'S	FINE アゲインズPLUS	エンドレスローズは、2-1-2のゾーン、ビッグママはマンツーマンディフェンスで試合開始。第2ピリオド、エンドレスローズは速攻でリズムをつかみ、連続ポイントで波にのる。後半に入ってもエンドレスローズの速攻がさえ、ビッグママ'Sは単発の3Pシュートで得点するが最後まで攻め手を欠き、リズムをつかむことができず、エンドレスローズの圧勝となった。(アゲインズPLUS)
④	アゲインズPLUS	32	FINE	エンドレスローズ ビッグママ'S	第1ピリオド、落ちついてはいるがなかなか点に結びつかない。第2ピリオド、アゲインズPLUSの3Pシュートが決まりだす。第3ピリオドは互角のスタートだったが、アゲインズPLUS#17の見事なバックシュートでリズムをつかむ。第4ピリオド、アゲインズPLUS#6のカットイン、#10の3Pシュートなどで波にのる。FINEも負けじと#18のジャンプシュート、#12の3Pシュートで応戦。最後まで、両チームともに走りきったが中盤での点差がひびき、アゲインズPLUSの勝利となった。(エンドレスローズ)

Eブロック					戦評
ゲーム	チーム名	得点	チーム名	審判	
①	桜香コミックス	40 $\left[\begin{array}{l} 9 - 2 \\ 7 - 5 \\ 13 - 5 \\ 11 - 2 \end{array} \right]$ 14	西神ママドルS	兵庫県家庭婦人連盟 西播磨ドリム	第1ピリオド立ち上がり両チームともシュートチャンスを生かしきれず、得点に結びつかない。第2ピリオドにはいり桜香コミックスがロングパスや高さを生かしたプレイでリズムをつかみ先行する。西神ママドルSもスピードのあるプレイで攻勢すが決め手を欠く。後半リバウンド力で勝る桜香コミックスが早いパス回しで主導権を握り、西神ママドルSを振り切った。(cz & purple)
②	cz & purple	10 $\left[\begin{array}{l} 5 - 8 \\ 0 - 6 \\ 1 - 5 \\ 4 - 7 \end{array} \right]$ 26	西播磨ドリム	桜香コミックス 西神ママドルS	前半スタートから西播磨ドリムのディフェンスが良く、cz & purpleのミス誘う。西播磨ドリムはカットからの速攻でリズムに乗り先行。第2ピリオド、一進一退の攻防が続くが前半終了間際西播磨ドリムのシュートが決まりだし14-5で折り返す。後半cz & purpleのシュートが決まらず反撃の糸口がつかめない。激しいマンツーマンディフェンスで波にのった西播磨ドリムが26-10で押し切った(桜香コミックス)
③	西播磨ドリム	18 $\left[\begin{array}{l} 2 - 10 \\ 4 - 4 \\ 6 - 12 \\ 6 - 9 \end{array} \right]$ 35	桜香コミックス	兵庫県家庭婦人連盟 西神ママドルS	第1ピリオド両チーム互角の攻守で始まったが、桜香コミックスはセットプレイで多彩に攻め西播磨ドリムのファウルを誘い優位にたつた。第2ピリオド、西播磨ドリムがボールをコントロールする時間が長くなりシュート数も増えるが決まらず波にのることが出来ない。第3ピリオド、両チームともにロングシュート、ドライブインなど積極的な攻めで白熱した戦いも桜香コミックスが#14の得点で引きはなす。第4ピリオド、桜香コミックスが攻守でリズムよく波にのり勝利した。(西神ママドルS)
④	西神ママドルS	25 $\left[\begin{array}{l} 8 - 4 \\ 6 - 4 \\ 7 - 9 \\ 4 - 3 \end{array} \right]$ 20	cz & purple	西播磨ドリム 桜香コミックス	第1ピリオド、西神ママドルS#24のシュートから始まる、両チームともにゾーンディフェンスだがリバウンドから西神ママドルSがリズムをつかむ。第2ピリオド西神ママドルS#22の気迫溢れるディフェンスからミスを誘い、14対8で前半を終える。第3ピリオド、両チームともマンツーマンディフェンスへ変更し主導権を握ろうと奮闘。cz & purple#6のドライブインが連続で決まり追い上げを図る。第4ピリオド、どちらも疲れからかシュートが決まらず、最後は西神ママドルSが25対20で逃げ切る。(西播磨ドリム)